

**製品名: LOK ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13368**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | ウサギポリクローナル抗体                                       |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | WB,IHC,ELISA                                       |
| 反応性    | ヒト、ラット、マウス   |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | IgG  |
| クローン性  | ポリクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | 1mg/ml   |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。   |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製     | アフィニティー精製  |

**応用**

|      |   |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000 |
| 分子量  | 120kDa  |

**抗原情報**

|              |  |
|--------------|--|
| 遺伝子名         | STK10  |
| 別名           | STK10; LOK; Serine/threonine-protein kinase 10; Lymphocyte-oriented kinase |
| 遺伝子 ID       | 6793.0   |
| SwissProt ID | O94804   |
| 免疫原          | 抗血清はヒト STK10 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 491-540                            |

**背景**

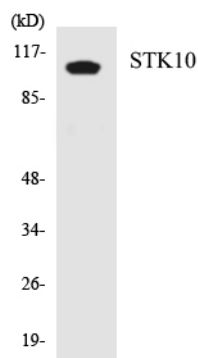
この遺伝子は、セリン/スレオニンプロテインキナーゼの Ste20 ファミリーのメンバーをコードし、いくつかの既知のポロ様キナーゼキナーゼと類似しています。このタンパク質はポロ様キナーゼ 1 と会合してリン酸化することができ、キナーゼ不活性型の過剰発

現は正常な細胞周期の進行を阻害します。また、このキナーゼは、マイトジェン活性化プロテインキナーゼキナーゼ 1 経路を介して T 細胞におけるインターロイキン 2 の発現を負に制御することができます。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。 ,機能: ミエリン塩基性タンパク質やヒストン 2A のセリンおよびスレオニン残基などの基質に作用する。 ,PTM: 自己リン酸化。 ,類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。 ,類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。 STE Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。 STE20 サブファミリー。 ,類似性: 1 つのタンパク質キナーゼドメインを含む。 ,組織特異性: 主にリンパ器官で発現する。 ,

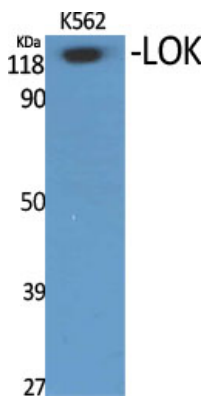
## 研究分野

-

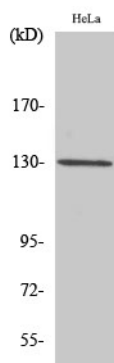
## 画像データ



STK10 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



LOK ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



LOK ポリクローナル抗体を用いた HuvEc 細胞のウェスタンブロット解析

